

## 事業の概要

### 1. 太平洋島嶼国開発協力事業 【継続事業】

太平洋島嶼国の環境、エネルギー及び観光の分野における開発協力事業として、次の7件のプロジェクトを実施する。

#### (1)太平洋諸島大学生招待計画

太平洋島嶼国（ミクロネシア、パラオ、マーシャル諸島、パプアニューギニア、フィジーの5カ国）から大学生計8名を招待して、短期間の研修を行い、我が国の環境問題等についての理解を深める。上智大学や一般社団法人日本学生会議所の協力を得る。

#### (2)太平洋記者招待計画

太平洋島嶼国（フィジー、マーシャル諸島、パプアニューギニア、トンガ、ミクロネシアなど）の有力記者を招待して、我が国の環境保護、防災、エネルギー利用などについて理解を深め、我が国の現状についての広報を行う。日本フォーリンプレスセンターの協力を得て実施する。

#### (3)太平洋若手リーダー招待計画

太平洋島嶼国の若手リーダー(本年度はパラオ、ミクロネシア、及びマーシャル諸島の3カ国)を我が国に招待して、我が国のオピニオン・リーダーとの会談を行うとともに、環境、エネルギー、観光に関連する視察を通じて、我が国についての理解を深める。

#### (4)我が国オピニオン・リーダーの派遣

我が国からオピニオン・リーダーを太平洋島嶼国に派遣して、我が国が取り組んでいる環境問題等につき講演を行い、対日理解を深める。本年度は、上智大学大学院地球環境学研究科教授をパラオ共和国に派遣する予定。

#### (5)ミクロネシア短期大学との協力促進

太平洋島嶼国の大学と我が国大学との協力関係につき、一層の促進を図る。本年度は、上智大学・上智短期大学とミクロネシア短期大学の連携(環境問題の夏季研修など)、及び、麗澤大学とミクロネシア短期大学との環境協力の促進を側面的に支援する。

#### (6) ザビエル高校環境改善計画

APIC と連携協定を結んでいるミクロネシア連邦ザビエル高校は、4月の超大型台風の影響で甚大な被害を受けたが、復旧プロジェクトの一環として、環境改善モデル事業(ザビエル高校生活環境修復計画・アクアポニク環境型農業計画)の支援を行う。

#### (7) ミクロネシア地域環境保護計画

パラオ、ミクロネシア、マーシャル諸島、グアム及び北マリアナ諸島の3カ国2地域は共通の環境政策「ミクロネシア・チャレンジ」を担当するMicronesia Conservation Trust (MCT)より提案のあった「クリーンウォーター及び持続可能な生活改善プロジェクト」を支援する。

## 2. 日・カリブ友好協力事業 【継続事業】

カリブ諸国の環境、エネルギー及び観光の分野における開発協力事業として、次の3件のプロジェクトを実施する。

#### (1) 西インド諸島大学学長招待計画

西インド諸島大学(ジャマイカ)の副総長、各分校(ジャマイカ、トリニダード・トバゴ、バルバドス)学長3名を我が国に招待して、我が国大学との意見交換会、環境、エネルギー、観光に関連する視察を通じて、我が国についての理解を深める。実施に当たっては外務省等と協力する。

#### (2) 西インド諸島大学学生招待計画

西インド諸島大学各校(ジャマイカのモナ校、トリニダード・トバゴのオーガスティン校、バルバドスのケープ・ヒル校)の大学生計5名を日本に招待して、日本についての基礎講義を受講するとともに、環境、エネルギーなどの関連施設の視察を行う。また、我が国大学生との意見交換などを行う。実施に当たっては外務省等と協力する。

#### (3) カリブ諸国記者招待計画

カリブ諸国(ジャマイカ、ハイチ、トリニダード・トバゴ、グレナダ)の有力記者計4名を招待して、我が国のオピニオン・リーダーのインタビューや環境・防災・エネルギー関連施設の視察を通じて、我が国の実情について理解を深める。実施に当たっては、外務省、及び、日本フォーリンプレスセンターと協力を行う。

3. 国際協力に関する講演事業 【継続事業】

「APIC 早朝講演会」は、外務省幹部、在外大使による時局の日本の外交課題や激動する国際情勢などについて質の高い内容の話題を提供する講演会として、参加者から評価が高い。本年度も毎月一回実施する。

また、同様の外交課題・国際情勢等をテーマに小規模の「国際懇話会」を実施する。

4. 留学生奨学金事業

ザビエル高校(ミクロネシア連邦チューク州)と APIC/上智大学との「留学生協定」に基づき、昨年(2019)の第1期生に引き続き、本年秋から第2期生の受け入れを行う。